

別紙 4 救急医療の提供の実績

(救急医療を提供する能力を有することを証する書類)

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
	別紙4参照		常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	30床
専用病床	30床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来	513.24㎡	(主な設備) 麻酔器2台、除細動器2台、患者監視装置14台、超音波診断装置5台	可
救急CT	39.86㎡	(主な設備) X線CT装置	可
ICU	209.13㎡	(主な設備) 患者監視装置14台、除細動器2台、血液浄化装置2台、人工呼吸器12台、超音波診断装置2台、心拍出量測定装置10台、IABP3台	可
救命救急	239.71㎡	(主な設備) 患者監視装置18台、除細動器1台、血液浄化装置1台、人工呼吸器8台、心電計3台、超音波診断装置2台、心拍出量測定装置3台	可
救急外来	513.24㎡	(主な設備) 麻酔器2台、除細動器2台、患者監視装置14台、超音波診断装置5台	可

4 備考

救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている。
救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している。

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	7,269人 (3,333人)
上記以外の救急患者の数	12,975人 (2,862人)
合計	20,244人 (6,195人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	3台
---------------	----

別紙5 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明)

1 研修の内容

別紙5参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	23回
(2) (1) の合計研修者数	1,139人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有・無
 イ 研修委員会設置の有無 有・無
 ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
[Redacted]	医師	総合診療内科	部長	26年	教育責任者
	医師	救急科	部長	22年	
	医師	救急科	部長	39年	
	医師	小児科	部長	34年	
	医師	麻酔科	部長	24年	
	医師	外科	部長	28年	
	医師	整形外科	部長	37年	
	医師	産婦人科	部長	30年	
	医師	精神科	部長	30年	
	看護師	人材育成センター	係長		
	事務	人材育成センター	事務室長		

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
集団指導室	103.60㎡	(主な設備) 机20台、椅子60脚、プロジェクター、マイク、ホワイトボード
小会議室	41.94㎡	(主な設備) 机7台、椅子19脚、移動式シャカステン、プロジェクター、ホワイトボード

中央会議室1,2	82.93㎡	(主な設備) 机24台、椅子72脚、プロジェクター、スクリーン、PC、ホワイトボード、DVD、スピーカー、マイク
C31会議室	28.25㎡	(主な設備) 机6台、椅子18脚
C32会議室	41.85㎡	(主な設備) 机8台、椅子24脚、プロジェクター、スクリーン、PC
C33会議室	41.85㎡	(主な設備) 机8台、椅子24脚、プロジェクター、スクリーン、PC
大会議室	331.94㎡	(主な設備) ホール椅子292脚、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、BD/DVD、スピーカー、マイク、PC
K01会議室	21.63㎡	(主な設備) 机6台、椅子18脚、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード
K31会議室	20.85㎡	(主な設備) 机4台、椅子12脚、ホワイトボード
人育センター会議室	62.27㎡	(主な設備) 机15台、椅子45脚、プロジェクター、スクリーン、PC、ホワイトボード、DVD、シャカステン、マイク
K41会議室	96.44㎡	(主な設備) 机28台、椅子84脚、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、BD/DVD、スピーカー、マイク、PC
K42会議室	120.15㎡	(主な設備) 机28台、椅子84脚、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、BD/DVD、スピーカー、マイク、PC
K43会議室	7.82㎡	(主な設備) 机1台、椅子6脚、ホワイトボード
K45会議室	37.86㎡	(主な設備) 机8台、椅子24脚、ホワイトボード
K46会議室	33.03㎡	(主な設備) 机6台、椅子18脚、ホワイトボード
K47会議室	66.00㎡	(主な設備) 机15台、椅子45脚、プロジェクター、スクリーン、マイク

別紙6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	病院長 鳥居 裕一		
管理担当者氏名	地域医療連絡室 室長		

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		①診療情報管理室 (直近2年分の記録) ②病院敷地外倉庫 (3年以上前の記録)	診療に関する諸記録は、①②に保管。患者番号ターミナルデジット方式で保管管理している。 平成18年1月 (入院) 電子カルテ導入 平成18年7月 (外来) 電子カルテ導入
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連絡室	
	救急医療の提供の実績	総務課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連絡室	
	閲覧実績	地域医療連絡室	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連絡室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

別紙7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	病院長 鳥居 裕一
閲覧担当者氏名	地域医療連絡室 室長 XXXXXXXXXX
閲覧の求めに応じる場所	開放型病院医師連絡室
<p>閲覧の手続の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 閲覧を希望する者は、地域医療連絡室において「病院管理・運営に関する諸記録閲覧申込書」に必要事項を記載して提出。 2 閲覧担当者は、内容を確認した上で閲覧責任者の決裁を受ける。 3 閲覧担当者は、申請の結果について申請者へ連絡。 4 決裁後、閲覧担当者は当該記録を用意し同席の上、閲覧希望者の閲覧に供する。 	

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

別紙 8 医療法施行規則第9条19の委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回	
委員会における議論の概要		
第 1 回	平成29年7月4日 (火) 参加者 13名 議題 ・ 新任委員紹介 ・ 地域医療支援病院実績報告 (平成28年度実績) ・ 256列CT導入について ・ Webマガジン「白いまど」について ・ その他、意見交換会	
第 2 回	平成29年11月7日 (火) 参加者 10名 議題 ・ 新任委員紹介 ・ 地域医療支援病院実績報告 (平成29年度上半期実績) ・ 外来透析室移転について ・ 地域肺炎パスの取り組みについて ・ 病院広報について ・ その他、意見交換会	
※議事：別紙8参照		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

別紙 9 患者相談の実績

患者相談を行なう場所	相談窓口・ 相談室 ・その他（病室、病棟面談室）										
主として患者相談を行なった者 (複数回答可)											
患者相談件数	<table> <tr> <td>医療福祉相談</td> <td>22,333 件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(医療行為・医療事故・情報公開 26 件、診療報酬等の費用負担 3703 件、職員の対応・接遇 67 件含む)</td> </tr> <tr> <td>総合看護相談 (健康相談 693 件)</td> <td>693 件</td> </tr> <tr> <td>がん相談</td> <td>4,324 件</td> </tr> <tr> <td>介護保険相談</td> <td>651 件</td> </tr> </table>	医療福祉相談	22,333 件	(医療行為・医療事故・情報公開 26 件、診療報酬等の費用負担 3703 件、職員の対応・接遇 67 件含む)		総合看護相談 (健康相談 693 件)	693 件	がん相談	4,324 件	介護保険相談	651 件
医療福祉相談	22,333 件										
(医療行為・医療事故・情報公開 26 件、診療報酬等の費用負担 3703 件、職員の対応・接遇 67 件含む)											
総合看護相談 (健康相談 693 件)	693 件										
がん相談	4,324 件										
介護保険相談	651 件										
患者相談の概要											
<p>患者支援センターにおける相談機能一元化</p> <p>患者支援センターでは病院 BSC に則り退院支援体制整備と地域連携推進に取り組み、高度急性期病院としての役割を果たし、断らない医療提供体制づくりを目標とした。地域の周辺総合病院も軒並み、当院同様の退院支援と相談支援が複合したセンター機能を整備しつつある。地域包括ケアの次なる概念「地域共生社会」を見込み、利用者の最善を見据えた地域活動を推進していきたい。</p> <p>医療福祉相談</p> <p>主たる相談が転院支援という症例が最も多く約半数を占めるが、独居、老老介護といった高齢社会の問題ともつながりがあり、重層的な福祉の支援が必要とされた。患者支援センターの周知が進み患者が困ったときに声をかけやすい環境が整い件数が増加しているが、自分から SOS を発しにくい社会的弱者の発見には継続して取り組む。</p> <p>総合看護相談</p> <p>病気や治療の受け止めや療養生活での困り事、心身における様々な気がかりや心配事について、精神的ケアの視点を持ちながら傾聴し意思決定支援を行った。必要に応じてカンファレンスに同席し、患者の疾患理解や精神症状への対応方法などについて、医療者との橋渡しの役割も行った。</p> <p>がん相談支援センター</p> <p>「就労を含めた社会的な問題への対応」「ライフステージに応じたがん対策」について、一般市民向けには浜松市や労働局との協働支援、院内向けには就労・子育て世代向け患者サロンを企画し実施した。これらの内容は新聞に掲載され大きな反響を得た。</p> <p>医療安全相談</p> <p>医療者とのコミュニケーション不足による患者の不安等の訴え解消のために、関係各所とのパイプ役として活動する機会が増えたのが特徴だった。カンファレンス等を通じ改善活動を継続する。</p>											

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講

じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること

(国様式例第20)

別紙 10 その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療評価機構（2017年7月24日 認証） JCI（Joint Commission International）（2015年8月29日 認証更新） ※（2018年9月17日～21日 認証更新審査受審 現在認証結果待ち）	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要（2017年度実績） 1) 病院ホームページ（病院ブログ105回更新/イベント情報掲載/診療科情報など随時更新） 2) 広報誌「白いまど」毎月1日発行（12回発行） 3) 各部門からの病院情報を「白いまど」と別紙で作成（18回「白いまど」と同封） 4) 動画サイトYouTube（新規配信 11回） 5) LINE@（2017年10月より開始）25回配信（2017年10月～2018年3月） 6) 市民向け公開講座 市民健康セミナー（病院学会付帯イベント）、がん診療連携拠点病院 市民公開講座 [全4回] がん診療連携拠点病院 一般市民向けがん診療講座 [全9回]、脳卒中市民公開セミナー ミニ講座“ホス地下” [全8回]	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 担当課 患者支援センター 職員数： 27名（医師 1名、看護師 14名 MSW 10名 事務 2名） 業務内容 退院支援・在宅療養支援における患者・家族の意思決定支援、社会資源（介護保険、訪問看護、往診、など）を活用するための地域医療者との連携調整、患者・家族が利用可能な社会資源・制度の情報提供・調整、在宅物品注文、かかりつけ医の紹介・調整、転院・入所の検索と調整 業務実績（2017年度）2017年4月～2018年3月 退院調整加算件数； 退院支援加算1 : 5,433件 退院支援加算3（NICU）: 386件	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定

有・無

・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容

・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

《策定した地域連携クリティカルパス》

(名称) 静岡県西部広域大腿骨地域連携パス

急性期治療から回復・維持期へ薬物、運動療法へと繋げ再骨折予防を目的とする

(名称) 静岡県西部広域脳卒中地域連携パス

医療従事者、介護従事者、患者の情報共有のツールとして再発予防を目的とする

(名称) がん地域連携パス（胃がん、大腸がん、肝がん、肺がん、乳がん）

医療従事者、介護従事者、患者の情報共有のツールとして治療継続を目的とする

(実績)

適応数	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
大腿骨	121	120	92	113	122	114	170
脳卒中	475	450	434	496	439	458	472
胃がん	12	18	10	29	11	7	7
大腸がん	9	3	9	10	8	4	1
肝がん	5	0	0	0	0	0	0
肺がん	2	0	3	2	5	4	0
乳がん	32	77	78	79	72	14	8

(院内) クリニカルパス委員会

委員：24名（診療部6、看護部12、医技技術3、事務部3）

開催日：毎月第1木曜日

がん診療支援センター運営会議

委員：26名（診療部15、看護部3、医技技術3、事務部5）

開催日：毎月第4月曜日

脳卒中センター運営会議

委員：14名（診療部3、看護部4、医技技術3、事務部4）

開催日：毎月第3月曜日

(院外) 静岡県西部広域地域連携パス委員会大腿骨近位部骨折部会

参加施設：計画病院8病院 連携保険医療機関13病院 連携診療所125医院

開催日：3月、7月、11月 第1金曜開催

議案：実績報告、パス改定、普及活動（医師会、医会との連携）など

静岡県西部広域脳卒中地域連携パス運用検討会

参加施設：計画病院7病院 連携保険医療機関13病院 連携診療所164医院

開催日：2月、6月、10月 第1金曜開催

議案：実績報告、パス改定、普及活動（医師会、医会との連携）など

静岡県西部広域地域連携パス委員会がん部会

参加施設：計画病院7病院 連携保険医療機関（乳117、肺165、肝158、大164、胃164）

開催日：H23/7、H24/6/4、H25/9/24開催（H26・27・28・29年度開催なし）

議案：実績報告、パス改定、普及活動（医師会、医会との連携）など

(その他) 普及活動：新規開業医への参画案内

当院計画中の地域連携パス：てんかん疾患連携パス・肺炎パス